

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

整理番号 98-00332

発送番号 366645

発送日 平成15年10月21日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成10年 特許願 第071569号
起案日	平成15年10月15日
特許庁審査官	辻本 泰隆 8945 5M00
特許出願人代理人	小池 隆彌 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1-13: 引用文献1, 2

(備考)

引用文献1, 2には、網掛け表示や色文字表示する等して、表示手段中の表示データの特定範囲を強調する目視追認ガイドを表示する強調表示制御手段を備えている電子書籍装置が記載されているものと認められる。そして、請求項1-13に記載の発明は、引用文献1, 2に記載の発明に周知技術を適用することにより、当業者が容易に推考することができたものである。

請求項 1 4 : 引用文献 1, 2

(備考)

引用文献 1, 2 には、網掛け表示や色文字表示する等して、表示手段中の表示データの特定範囲を強調する目視追認ガイドを表示する強調表示制御ステップを有するデータ表示方法が記載されているものと認められる。そして、請求項 1 4 に記載の発明は、引用文献 1, 2 に記載の発明に周知技術を適用することにより、当業者が容易に推考することができたものである。

請求項 1 5 : 引用文献 1, 2

(備考)

引用文献 1, 2 には、目視追認ガイドを表示する機能、表示された目視追認ガイドによって表示データを強調する機能、予め設定した速度で目視追認ガイドを移動させる機能などを備えた一種のコンピュータである電子書籍装置が記載されているものと認められる。そして、請求項 1 5 に記載の発明は、引用文献 1, 2 に記載の発明に周知技術を適用することにより、当業者が容易に推考することができたものである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平 9 - 6 2 6 9 9 号公報
2. 特開平 7 - 3 6 9 3 6 号公報

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記 3, 4, 5 の点で、特許法第 3 6 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記

3. 特許請求の範囲請求項 1, 1 4 に記載の「前記表示手段中の表示データの特定範囲を強調する目視追認ガイド」の意味が不明瞭であるために、請求項 1, 1 4 に記載の発明の構成全体が不明確になっている。

〔「特定範囲」とはどのような範囲か、可変の範囲なのか、固定の範囲なのかなど、が不明瞭であり、目視追認ガイドの技術的意義が不明確である。〕

4. 特許請求の範囲請求項 1 5 に記載の「表示データの複雑度あるいは出願頻度に基づいてあらかじめ設定した速度」の意味が不明瞭であるために、請求項 1 5

に記載の発明の構成全体が不明確になっている。

【「あらかじめ設定した」の主体がコンピュータか操作者か不明瞭である。また、「出願頻度」は誤記と認められる。】

5. 特許請求の範囲請求項15に記載の「目視追認ガイドを移動あるいは変形させる機能により強調された表示データを見やすくする機能」の意味が不明瞭であるために、請求項15に記載の発明の構成全体が不明確になっている。

【「表示データを見やすくする機能」の意味が不明瞭である。】

よって、請求項1, 14, 15に係る発明は明確でない。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 G 0 6 F 1 7 / 3 0

DB名

・先行技術文献

特開平 7 - 1 5 2 7 4 5 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。